

大念佛

No.63

発行／融通念佛宗総本山
大念佛寺

大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026

万部おねり

五月二日(火)～五日(土)



「万部おねり」のいわれ

平野の「万部」あるいは「万部おねり」として親しまれているこの大法会は、正式には「阿彌陀經万部読誦・二十五菩薩聖聚來迎会」といいます。

八世紀頃(平安時代)から、人々の間に極楽浄土に往生したいという願望が広まり、來迎図が盛んに描かれるようになりました。その欲求

はさらに菩薩の面・衣装を身につけ、往生の実験を試みるところまで発展していきました。迎講・往生講などといわれるものです。これを「聖聚來迎会」といいます。

大念佛寺における「聖聚來迎会」の起源は、第七世法明上人(一二七九～一三四九)が臨終の行儀をまのあたり拝したいと考え、菩薩の面・衣装をしつらえ最晩年の貞和五年(一三四九)

春、自ら行者となって來迎の儀式を執り行ったことに始まります。

近世に入り明和六年(一七六九)第四十九世堯海上人のとき、阿彌陀經一万部を讀誦して檀信徒と有縁無縁諸靈の追善を祈って万部会が創始されました。

この二つの法会が合体して今日に及んでいるのが「万部おねり」の儀式です。

二十五菩薩練り供養

菩薩役長 大東良弘



「般若心経」に菩提薩埵とありますが、これを略して菩薩といいますが、菩薩はこの上なき覚りを求めて、さらなる人格の向上に努めるかたわら、世のため人のため身命をとじて救済活動を行う人のことをいいます。「万部おねり」の菩薩は、阿彌陀仏の本願である衆生を一切の苦悩から解き放ち、真実にめざめさせるという活動を手助けするために、二十五の姿をとって表現されています。

そこで、苦悩の無い清らかで幸ある国土である極楽浄土から、穢土と呼ばれる私たちの住む世界にあえてやって来て、救いの手を差し伸べて下さるのが菩薩なのです。次に二十五菩薩練り供養についてですが、まず第一番目に紫金の蓮台を手に腰をかがめられた姿勢で観世菩薩が現れます。大慈悲心をもって衆生をあらゆる災難より救い、臨終を迎えた人を蓮台にのせて運びます。二番目に腰をか



がめ合掌の姿勢で、勢至菩薩が現れます。智慧をつかさどる菩薩で衆生に菩提心を起こさせます。三番目に幡幡を手に薬王菩薩

阿彌陀仏も菩薩も幸ある国土と呼ばれる極楽浄土におられますが、そこに留まってじっと住んでおられるだけでは阿彌陀仏も菩薩もともに私たちと遠く離れた存在になつてしまいます。

四番目に玉幡を手に薬上菩薩が現れます。薬王・薬上菩薩は兄弟で、共に良薬を与え衆生を病苦より救います。五番目に幡蓋を手に普賢菩薩、続いて金藏菩薩(瑟)、獅子吼菩薩(拍子板)、華嚴王菩薩

二十五菩薩名と持物	持物
一 観世音菩薩	紫蓮台
二 勢至菩薩	金剛合掌
三 薬王菩薩	幡幡
四 薬上菩薩	玉幡
五 普賢菩薩	幡蓋
六 金藏菩薩	瑟
七 獅子吼菩薩	拍子板
八 華嚴王菩薩	鉦鼓
九 虚空蔵菩薩	腰鼓
十 徳蔵菩薩	笙
十一 寶蔵菩薩	横笛
十二 法自在菩薩	箏
十三 金剛蔵菩薩	欵
十四 山海慧菩薩	箏篋
十五 光明王菩薩	琵琶
十六 陀羅尼菩薩	鳳簫
十七 衆宝王菩薩	銅鑼
十八 日照王菩薩	羯鼓
十九 月光王菩薩	振鼓
二十 定自在王菩薩	大鼓
二十一 三昧王菩薩	華鬘
二十二 自在王菩薩	華幢
二十三 白象王菩薩	寶幢
二十四 大威徳王菩薩	供華
二十五 無辺身菩薩	香炉



(鉦鼓)、虚空蔵菩薩(腰鼓)、徳蔵菩薩(笙)、寶蔵菩薩(横笛)、法自在菩薩(箏)、金剛蔵菩薩(欵)、山海慧菩薩(箏篋)、光明王菩薩(琵琶)、陀羅尼菩薩(鳳簫)、衆宝王菩薩(銅鑼)、日照王菩薩(羯鼓)、月光王菩薩(振鼓)、定自在王菩薩(太鼓)、三昧王菩薩(華鬘)、自在王菩薩(華幢)、白象王菩薩(寶幢)、大威徳王菩薩(供華)、無辺身菩薩(香炉)それぞれ持物を手にした二十五の菩薩が練り歩き、お渡りになるお姿はまさに極楽浄土の莊嚴華麗な様子をよく現しています。その後、本堂内において、菩薩伝儀式と呼ばれる献花の儀式が行われます。雅楽と声明の流れる中、十鉢の菩薩が、左右五鉢ずつに別れ一つ一つ献花なされます。菩薩は、菊・菖蒲・百合・芍薬・蓮の五種類の紙製の常花を、順に手渡しでこの本尊にお供えします。この時の菩薩のお姿は、日頃仏さまにお供物をお供えする私たちの全ての人が濁りに染まることなく共に幸あふれる世界に往きつくことを、願ひ励むその姿と心に重なり合います。私たちひとりひとりにはなによりもその菩薩でもあるのです。

この素晴らしい大法会を是非ご覧になって極楽浄土の世界を体感して下さい。

世界平和護摩供養

五月五日(土) 十二時~十三時 (本堂北側境内地)

今年も世界平和護摩供養が平野五流講によって執り行なわれます。昭和二十九年一月三日に大念佛寺境内地に平野五流講 金吉組により龍王殿が建立された事をきっかけに、それ以来、京都の本山修験宗 総本山聖護院で得度を受けた五流講が世界平和護摩供養のために万部法要の五月五日に大護摩を焚くようになりました。現在は奈良県吉野郡吉野町にある大峰山喜蔵院中井教善師を導師に、関西の津々浦々からたくさんの方々が集まり、世界平和護摩供養を厳修しております。



護摩とは供物(護摩木・五穀など)を炎に投じて神仏を供養する修法のことです。火の龍王が煙とともに供物を仏様に届けて、願い事かなえるといわれます。密教にのみ存在する修法の一つです。



また、護摩供養は、願事成就のみならず、自己の煩惱を焼き尽くします。そして、一心に祈願することで、自身を浄化させるのです。是非、お参りください。

平成二十七年 五月一日より

開宗九百年記念 奉修

再興大通上人 三百回 大法要 御遠忌



伝供式で唱える 「声明曲」四智讃

十牀の菩薩による伝供の間、雅楽が奏され、仏徳を讃歎して声明が流れます。

雅楽が奏されるのは、阿弥陀經に、仏国土には常に天樂（天人の奏する樂）が奏されているという記述に従っています。本堂に向かって右方で奏されます。

一方、唱えられる声明は「四智讃」という曲です。仏さまの偉大な智慧のはたらきを四種に類別して讃えた御文です。鏡のように全てのものを明らかに照らし出す大円鏡智、真理は全ての事物に行き渡っていることを見極める平等性智、対象物を如実に正しく観察する妙觀察智、人々を救済してなすべきところのことを成し遂げる成所作智、以上四種の智慧を讃えています。こちらは本堂に向かって左方で唱えられます。

唱えられるお経とその意味

オン	バサラ	サタンバ	シギヤラカ	(心から如来さまの教えをお受いたします)
	バサラ	アラタンナ	マドタラン	(如来さまの四智というお智慧も授けて頂きました)
	バサラ	ダルマ	ギャヤナイ	(如来さまの尊いお智慧を讃えて歌いあげます)
	バサラ	ゲルマ	キャロハバ	(今、この法要が実り多く、成就しますように。)

大法要には、必ず随所に声明が用いられます。声明は経文に音曲を附して唱えるものですが、仏さまをお迎えする時、仏さまを讃える時、仏さまの浄土に香・灯明・供物を供養する時、願い事を祈願する時、お勤めの功德を広く世間にもふり向ける時などに唱えられます。仏さまへの勧請・讃歎・供養・祈願・回向の心が、声明という形になって現れます。

「万部おねり」で唱えられる四智讃は、まさに「讃歎」と「供養」「祈願」の讃歌ということが言えるでしょう。

義援金のお礼とお願い

寺庭婦人会会長 村尾悦子

東日本大震災から一年が経ちました。未だ行方不明の方も多く、被災地は過酷な状況が続いております。私達は変わらぬ日常生活を送られる事に改めて感謝したいと思います。

雅のハーモニー

楽融会

五月四日 午前十一時～十二時

今回の演奏曲は、管絃「太食調音取」「抜頭」、舞樂「振鈴」「蘭陵王」、童舞「胡蝶」を予定しております。楽融会員は全員が僧侶で、そのほとんどが住職のため各々寺務も

魚山流 詠讃歌舞奉納

融通教会

五月一日～四日 午前十一時頃
五月五日 午前十一時三十分頃

詠讃とは詠歌・和讃のことで、詠歌は我が国では和歌を詠むこと、または和歌そのものを意味します。和讃は仏教讃歌の一種で七五音の句を連ねることが多く、これに曲節を付して朗唱する形態をとります。詠歌は節もの、和讃は語りものです。詠讃歌は融通教会が永年にわたり引継ぎ、数々の詠歌や和讃が「魚山流詠讃歌」として作詞作曲されました。その譜面の完成度の高さや音階の美しさから、他流には類を見ないと評価されるほど味わい

と深みがあります。さて、奉納いたします詠讃歌舞は、敗戦の混乱で荒廃した世の中に「心光明を」との願いから、昭和二十五年当時に武田花風師魚山流詠讃歌舞家元により万部和讃に振り付けられたものであります。誰にも親しまれ口ずさまれる万部和讃、及び金銀の舞扇の折り返される華麗な渡御は、五月晴れの万部法要に欠かすことのできないものであります。

募金活動の様子



五百十八円は日本赤十字社に届けさせて頂きました。暖かいご支援ありがとうございました。私達は、融通念佛宗の教えにありますように「一人はみんなの為にみんなは一人の為に」という言葉を心に留め、今年の万部法要中も境内で募金活動を行いますので、ご協力よろしくお願い致します。

融通声明コンサート

融通声明と古代インドの楽器シタールのコラボレーション

融通声明研究会

五月三日 午前十一時～十二時

シタールは北インドを代表する楽器です。中世のインド宮廷音楽やイスラム文化の影響をうけて生まれました。メロディやリズムなど、伝統的な規則のもとに奏者の感性やテクニクを即興で演奏していきます。弦の共鳴やシタール独特のうねりやゆらぎが静かに押し寄せ、私たちが甘美で不思議な世界に誘います。

どうぞお楽しみ下さい。尚、シタール奏者のスシマ小俣さんはネパールに生まれ、世界的に活躍されているかたです。また、東京藝術大学講師にも就任されています。

仏教讃歌奉納

融通念佛宗聖歌隊

五月二日 午前十一時～十一時三十分
五月五日 午前十時～十一時

声楽家の河田早紀先生よりコーラスの基礎から歌詞の一言一句に心をこめる大切さまでをこまやかに丁寧に御指導をいただきました。また、伴奏ではピアノ・ストの高木寿美代先生に女性コーラスの三つのパートを歌いやすい様に助けていただいております。今年の万部法要にむけては「宗

平成24年 万部法要 日程・時間表

日程	5月1日(火)	5月2日(水)	5月3日(木) 憲法記念日	5月4日(金) みどりの日	5月5日(土) こどもの日
6時30分	半齋勤行	半齋勤行	半齋勤行	半齋勤行	半齋勤行
9時30分	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦	おつとめ 阿弥陀経 読誦
10時					
10時30分		大念佛寺奉賛会 祈願法要			仏教讃歌奉納
11時		仏教讃歌奉納			布教 田中瑞修師
11時30分	べしよ 八島念仏講	あんぶ 安堵念仏講	融通声明 コンサート	雅のハーモニー	宗務総長 挨拶 魚山流詠讃歌舞
12時	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	魚山流詠讃歌舞	世界平和祈願 護摩供養
12時30分	布教 磯田良孝師	布教 中川直也師	布教 森 佳覚師	布教 福井邦典師	
1時	宗務総長 挨拶 お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	宗務総長 挨拶 お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り	お稚児・詠讃歌舞 禪門講・諸講元 お渡り
2時	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念	二十五菩薩練供養 入御 万部興 渡御 菩薩 伝供 阿弥陀経 読誦 供養楽 万部結縁回向 阿弥陀経 読誦 管長祝下 内外十念
3時					
3時30分	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御	二十五菩薩練供養 還御

お稚児さん募集

たくさんのお参りの方に身守られ、ほとけさまを身近に感じられるすばらしい渡御となることでしょう。

「菩薩様との記念撮影」も大変貴重な経験となります。是非ご参加ください。

■日程 五月一日〜五日

雨天決行

■費用 お一人 八千円(一日)



※白足袋か白靴下を御用意ください。

申し込み 大念佛寺寺務所まで
電話〇六一六七九一一〇〇二六
※当日の申し込みは午前十一時
まで受け付けております。

勧進のご案内

塔婆回向

本堂にて受付(十時から十五時まで)
〇万部中常回向(五日間) 五千元

※万部終了後であっても五日間回向致します。

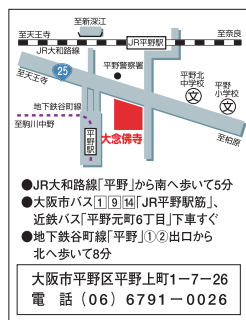
各種勧進

- 〇当日回向 (一日) 三千元
- 〇巻線香(御本専用) 五百円
- 〇本堂正面用ロウソク 二千元
- 〇脇壇用ロウソク 一千元
- 〇本堂大屋根 瓦勧進 二千元

※各種奉納行事の内容・時間については、変更する場合がございます。

青年会だより

みなさんの願いを「ぼさつさま」に届けよう!!
毎年好評を頂いております「ぼさつさまめぐりえ」は今年で六回目になりました。今年は辰年にちなみ「竜笛(横笛)」をお持ちの「宝蔵菩薩」さまです。万部法要期間中、無料休憩所において展示を行います。
万部終了後には青年会僧侶による祈願成就の法要を執り行います。今年も多くの方のお願い事と作品をお待ちしています。
尚、塗り絵の用紙は大念佛寺本堂・寺務所にご覧いただけます。または青年会ホームページ <http://wznsai.com> からプリントアウトしていただけます。



万部結縁回向

昨年、七十四年ぶりに復活した「万部興」
輿に納めた万部経に霊名を記し、管長祝下によって永代に渡って回向されます。

伝統あるこの法会に、よきご縁を結んでいただきたくお勧め申し上げます。

永代回向料 一霊 一〇万円
申込受付(本堂売店・瑞祥閣受付・寺務所)



納経料 一卷 一千元
受付(本堂売店・寺務所)

第五教区教化活動

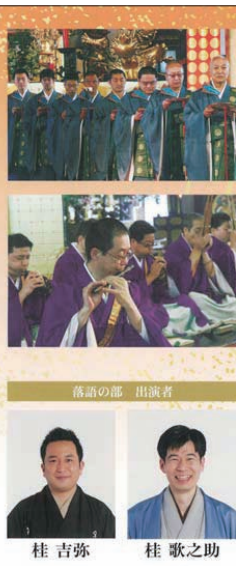
声明・雅楽・落語の伝統芸能をご堪能ください
■日時 平成二十四年六月五日(火)
午後一時開場
午後一時三十分開演
午後四時頃閉演

■場所 枚方市民会館大ホール
(京阪電鉄「枚方市」駅、徒歩三分)

■入場無料
第一部 声明と雅楽
第二部 落語
出演者 桂 吉弥
桂 歌之助

「融通念仏と伝統芸能」

第一部 声明と雅楽
第二部 落語



○主催 融通念佛宗 第五教区教化活動推進委員会
○後援 融通念佛宗
○お問合わせ 長泉寺 〇七二一八四九一一二四九

御遠忌 写経納経

納経された写経は、延喜殿にて永代奉納させていただきます。

「般若心経」または「日課浄業」の二種納経料 一卷 一千元
受付(本堂売店・寺務所)